学習指導案形式例【R７ 各教科】
（群馬県教育委員会）

○ ○ 科 学 習 指 導 案

単元名（題材名）「○○○○○○○○○○○○○」［学指要領：例（ ）、ア、(ｱ)］

令和○年○月○日（○）　第○校時　○○○○教室
○○立○○○学校　○年○組　○名　指導者　○○　○○

Ⅰ　単元（題材）の構想

1　単元（題材）の目標及び児童（生徒）の実態

	目　標	児童（生徒）の実態
知識及び技能	・	・
思考力、判断力、表現力等	・	・
学びに向かう力、人間性等	・	・

＜文型・文末例＞
知及技「～を理解することが**できる**。」
思判表等「～考察し、～表現することが**できる**。」
学び等「～を主体的に追究（追求）**しようとする**。」

2　評価規準

知識・技能	・
思考・判断・表現	・
主体的に学習に取り組む態度	・

＜文末例＞
知・技、思・判・表「～**している**。」
主体態「～**しようとしている**。」

3　指導及び評価、ICT 活用の計画（全○時間：本時第○時）　※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	・～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～。(a) 単元の課題			
2	・～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～。(b)			
3	・～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～。			
4	・～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～。			
5	・～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～。(c)			
6	・～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～。			

＊活用するコンテンツ等：(a)　(b)　(c)

（4　例：○○の価値　※各教科等の特質に応じて設ける）

＜例＞
国、外「言語活動の価値」
音、図美、技・家「題材の価値」　等

【学指要領】
・学習指導要領解説における指導事項や各分野の内容等を、記号で記述する。

【単元（題材）の目標】
・学習指導要領で示された各教科等の内容を基に、**単元や題材を通して育成を目指す資質・能力**を記述する。

【児童（生徒）の実態】
・前単元(題材)までの学習や系統性を踏まえ、**本単元(題材)の目標との関わり**から、実態を簡潔に記述する。
※原則として、前単元、同系統、生活経験　等
・「～ができない。」といった否定的な記述のみは避け、児童生徒の実態を肯定的に捉え、「～については理解している。」のように、プラス面を記述する。

【評価規準】
・「**『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所）**を参考にし、作成をする。その際、資料の「内容のまとまりごとの評価規準」をそのまま使用できない場合もあるため、実施する単元（題材）の内容と照らし合わせ、各観点の評価規準を吟味する。

【評価の計画】
・単元（題材）の評価規準に照らし、各単位時間の評価の観点を、絞り込んで位置付ける。
・児童生徒の学習状況を見取り、必要に応じて教師が指導、支援するなどして学習状況の改善を図る「**指導に生かす評価**」は「○」、評価したことを指導に生かしつつ、評価したことを記録する「**評定に用いる評価**」については「●」を枠に示す。
・各教科等の評価の表し方や考え方、観点の位置付けについては「群馬県教育委員会『**指導と評価の一体化の充実に関する資料**』（各課発行・提供資料　義務教育課）」を参考にし、工夫して示す。

【指導の計画】
・**（単元（題材）の目標の達成につながる）「単元の課題」を解決するために必要な学習活動を明確に**し、単位時間ごとに一文で簡潔に記述する。
・「つかむ」「追究（求）する」「まとめる」過程の区切りは実線、その中を細分化する場合は点線とする。
※別紙として示す場合は、資料として添付し、３タイトル横に「※別紙参照」と示す。

【活用するコンテンツ等】
・参観者が後に参考とできるように、学習で使用するWebのＵＲＬ情報などを、（英小文字）の後に記述する。
　例（a）http://www.nc.gunma～～～～～　等
※（a）などは、指導の計画の中に位置付ける。

【例：○○の価値】　※各教科等の特質に応じて記載
・指導者の意図に基づき設定される言語活動、題材等について、児童生徒の資質・能力の育成とのつながりから、その魅力や必要性等を、簡潔に記述する。
　（主に右枠内の教科）
※「教科学習指導案例」、
　「各教科等授業改善プロジェクト学習指導案」参照

フォントサイズ･･･原則：10.5Ｐ、小：9.0Ｐまで

【ねらい】
- 「**学習活動＋本時に育成を目指す資質・能力**」とし、**教師の立場**で、具体的かつ簡潔に記述する。
- どの単位時間でも同じ記述にならないように、単元(題材)における本時の位置付けを明確にする。
- 参観者が、「ねらい」を見ただけで、授業の主たる学習活動や目標をイメージできるように記述する。（授業参観の視点となる）

【めあて】
- 「ねらい」を達成するために「**何を**」「**どのように**」**学ぶのか**など、学習の見通しを明確に意識できる**児童生徒向け**の言葉を記述する。※「はばプラⅡ」参照

【主な学習活動】
- 番号を付け、**児童生徒の立場**で、具体的かつ簡潔に記述し、時間は大まかに（〇分）で示す。
- 「導入」「展開」「終末」の区切りは実線罫線とする。

【児童（生徒）の意識】
- 児童生徒の意識を「Ｓ」として記述する。
- 本時の「**ねらい**」**の達成に向かって、一人の児童生徒を想定し、意識が変容していく様子を表現**する。

【まとめ】
- 「**めあて**」**に正対する答えや内容**となるよう意識し、育成を目指す資質・能力とつながるものとする。

【振り返り】
- 本時の学習の取組全体を見返し、自分が学習したことについての理解度や変容したこと、学習したことと他の学習や生活などとの関連付け、次時への見通しなど、「振り返り」の視点を踏まえ、記述する。

Ⅱ　本時の学習（●／●）

1　ねらい　～～～～～～～～～～～〔中心的な学習活動（手立て）〕～～～～～～～～～～～を通して、〇〇〔本時に育成を目指す資質・能力〕ができるようにする。

2　展　開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の意識〔Ｓ〕	〇指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
1　前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（〇分） <めあて> ～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～。 Ｓ：	〇～～～～～～～～～～～～～～～できるように、～～～を問いかける。 〇～～～～～～～～～～～～～～～できるように、～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～を掲示しておく。
2　個別に～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～する。（〇分） Ｓ： Ｓ：	〇～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～できるように、～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～を複数用意する。 〇～～～～～～～～～～～～～～～できるように、～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～を事前に設置する【別紙写真参照】。 〇～～～～～～～～～～～～～～～できるように、～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～を助言する。
3　集団で～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～する。（〇分） Ｓ： Ｓ： Ｓ：	〇～～～～～～～～～～～できるように、～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～板書する。 〇～～～～～～～～～～～～～～～できるように、～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～意図的に指名をする。 ◆評価項目（例：思） 学習カードの記述内容から（A）、「～～～～～～～～～～～～～～～～について考え、表現しているか（B）」を評価する。
4　本時のめあてに対するまとめを確認し、学習内容の振り返りをする。（〇分） <まとめ> □□□。	〇～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～できるように、～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～問いかける。 〇～～～～～～～～～～～～～～～できるように、～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～称賛する。
<振り返り> Ｓ：△△△。	

【指導上の留意点】
- 児童生徒が「～する」授業を実現し、授業の「ねらい」に迫るための**手立て**（**教師による直接的な働きかけ**や**環境の構成**）を記述する。
- 「（児童生徒が）～～～できるように、（教師が）～～～する。」と、「**目的＋手立て**」で記述する。

例：直接的な働きかけ
「問いかけ（発問）」「ゆさぶり」「助言」「促し」
「考えの取り上げ方やつなぎ方」「称賛」　等

例：環境の構成
「グループの編成」「座席の配置」「コーナーの設置」
「教具、学習プリントの用意」
「目標、学習計画、視点の掲示」　等
※「どのような」「どのように」を具体的に記述する。

- 環境の構成に関わる「コーナー」や「教具」などを具体的に記述しにくい場合は、文末に【別紙参照】などと示し、資料として画像や図を添付することも考えられる。
- つまずきが見られる状況と判断される児童生徒への手立てについても記述する。
- ICTについて記述する際は、教師がその有用性を捉えて「**いつ、どこで、どのように**」活用するか位置付けたり、児童生徒が自らの学習に活用できる環境を整えたりすることが重要となる。

※「問題解決的な学習を充実させるICT機能」(県義務教育課発行)参照

【評価項目】
- １ページ目の「３　指導及び評価、ICT活用の計画」と評価の観点を合わせ、どのような<u>**評価材料（A）**</u>から、どのような<u>**姿を見取り（B）**</u>、<u>**評価する**</u>のかを明確に記述する。

※詳細については、教科学習指導案例を参照する。

※「まとめ」や「振り返り」については、各教科等の特質により位置付けや内容、関係性が異なるため、工夫して示す。